

工事安全道場のご紹介

設置場所

堤) グローバル安全衛生教育センター
第4実習場

【工事安全道場を用いた教育の概要】

①過去の災害事例とその対策

仕入先様重大災害の原因と対策及び計画者としてやるべきことを学ぶ



構内仕入先様重大災害 事例3

発生日時：2018年9月16日(日)
発生場所：上棟工場
受傷者：外傷性脳挫傷
傷病名：外傷性脳挫傷
概要：労働者は、翌日の作業を前出して行うための作業スペースを確保するため、当該設備にないコンベアを移動させようとした。その際、コンベアが押れて上車庫を押しつぶされた。

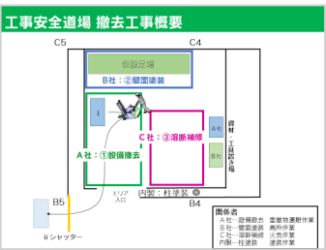
翌日の作業を前出して行おうとした
計画外の作業を行った



↑ 全体研修 ↑

②模擬工事計画を通じた工事計画と工事RA確認実習

模擬工事の計画、RAの確認ポイントをグループワーク及び現場確認から学ぶ



↑ RAポイント解説

↑ グループワーク

↑ 現場確認

③現場作業を見る目の研鑽と危険体感、正しいルールを理解

模擬工事の現場確認や危険体感、工事安全のルール等を学ぶ

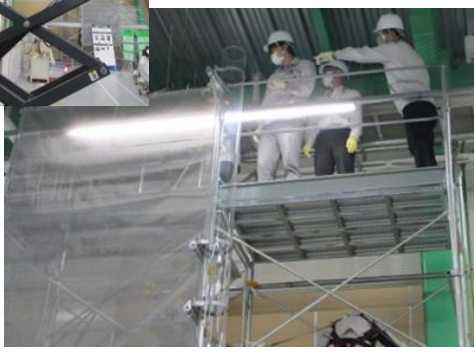
ルール違反探し ↓



← 高車の揺れ体感



← ↓ ハンドリフト操作体感



↑ 足場の高さ体感

④仕入先様の困り事と変化点

変化点発生の背景にある仕入先様の困り事をケーススタディを通して学ぶ

仕入先様の困り事：停電時の工事

【困りごとの例】
・照度が低すぎず作業エリアが増えた。
・途中で照明が止まり、暑い寒いシャッターが開けられない
・セキュリティ等で入れない場所への搬入の対応が大変
・準備エリアが少なかった

↓ 天窓からの光とヘッドライトで十分明るいと想定したが、設備の故障で、途中で作業に集中できなくなりました。
・転倒や搬送物にぶつかるリスクも、通常より高かったです。

どうしておけばよかったか？
・停電日は電力工事を入れない。止むを得ず工事を入れる場合は作業現場（照明、気流等）に応じて工事計画を立て、準備を確実に行う。

事前の現地確認不足：ケーススタディ

設備移設工事
計画者は重量2.5tonの単体の貯2基を工場内のA区域⇒B区域に移動を計画

事前確認不足
・A区域の寸法が不明
・B区域の寸法が不明
・A区域の照明不足
・B区域の照明不足
・A区域の床面が硬い
・B区域の床面が硬い

結果
クレーンによる外壁工事計画があり、前日は雨で作業が中止。現場は雨で作業が中止。現場は雨で作業が中止。現場は雨で作業が中止。